

安全な空飛ぶ車は日本を救う

日本に対し、車には25%の関税、その他の一般のものには、24%の関税をかける（中国には34%）というのは、トランプ大統領の「米国の世界の完全制覇策」の一環だと考えています。

当然、世界各国からの強い批判（反発）もあり、米国にとっても甚大な痛みを伴うものですが、「肉を切らせて骨を断つ」感覚ではないかと考えています。

トランプ大統領の思い付きでできるはずもなく、マスク氏がAIを駆使し、提案したと考えられ、世界の国々全ての「日本化」（＝米国に服従し、国際競争力低下・貧困化・少子化が極度に加速している状況）を狙っている政策だと考えています。

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_5be5cd9b3b984e1d93f051fb2ead79d3.pdf

米国が（当面は核による軍事的な均衡状態ながらも）まず、経済面で世界の国々に対して、絶対的な優位性を保ち、次の段階では軍事面でも圧倒的な優位性を築き、世界を支配する狙いがあると考えています。

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_fddd68eb2ea347c6b130c80fa0837ddf.pdf

米国としては、日本の封じ込めを継続的に行いながら、次の狙いは、中国、EU、ロシア・・・の順での封じ込め策（関税戦争を仕掛け、米国への大型投資を強制し、各国内での税金UP&貧困化を狙う：日本は30年で税金2倍）を模索し、今後「関税経済戦争」が激化すると予測しています。

注：日本が戦後復興の勢いに乗じて、経済的に世界を支配する兆候が出てきたときに、米国は、世界の経済戦略を推進する田中角栄を失脚させ、日米自動車協定を締結させ、さらに継続的な増税策（献金→見返り補助金・発注→増税）をとらせ、国際競争力38位にまで落ち込ませています。

よって今後は、米国一辺倒ではなく、防衛に関しても、中国やロシア製の採用も考慮すべきです。

また、「国立AI研究所」を設立し、立ち遅れたAI技術の強化が必要です。AIは開発プロセス、製造工程の自動化、製品の機能UPにとっても有効です。

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_76c4a35d8a7a472e8656bb5025cc2fe6.pdf

（中国は国立AI研究所に相当するものを持ち、AI技術で群を抜いている）

日本は、米国に対し従順なイメージを継続的に維持しながら、日本独自の防衛システムの構築をしていく必要があります。

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_ee40823fa83a480dba2d7420d75f4594.pdf

また、日本発の新しい交通インフラとして、危険な「空飛ぶ車」から、安全な「空飛ぶ車」へ切り替えを行い、本気モードに切り替えていただくことを提案します。

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_2aedcaab781f466a8a24d222429254cc.pdf

「安全な空飛ぶ車」を先取りをすることで、日本が負け組から勝ち組に転換することができます。（国際競争力1位も獲得できる。）

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_defdb8c563dc40fe8315069878b71bd8.pdf

「羽田ー豊洲」「羽田ーデズニーランド」「豊洲ーデズニーランド」ルート等での運航を皮切りに、全国各地で早期（2027年末を目標）に運行を目指し、「安全な空飛ぶ車」を世界中に展開したいと考えています。



人を乗せるときは低空（海上3m、陸上1m）ですが、人を乗せないときは、もし落下しても下側に人的な被害が出ないエリア限定で、スマホアプリで周辺の人達に通知をしたうえで、高いところを飛行することができます。

居住性を充実させると、移動も可能な別荘又自宅に設定でき、3千万～30億等の価格設定でも、世界中の中流階級以上の人達が、こぞって買いに来ると考えており、日本ではほぼ全産業が活性化します。

また、「事故・故障前提の「低速自動運転と人が運転するモード切替車」を推進することで、AI技術等で出遅れが目立つ「日産自動車のリストラの未然防止」をはじめ、車メーカーのみならず、日本全体の産業の低迷を救い、再び「JAPAN AS NO1」も狙えると考えています。

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_73e6a5d6429040a296de32dd44c7c663.pdf

以上、お気軽に問合せ下さい。 問合せ先 ☎ 090-5203-8627（広田）